

# CADPAC CIVIL Ver.21 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.21 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.20 からの差分です)

1. 対応 OS Windows11 に対応しました。  
[ 基本操作 1/ 対応 OS ]
2. ニュートラルモード 文字要素のダブルクリックで、文字列編集コマンドが起動できるようになりました。また、選択した要素を [DEL] キーで消去できるようになりました。  
[ 基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動 ]
3. 右パネル 文字列が表示しきれないとき、オンマウスでツールチップが表示され、文字列全体を確認できるようになりました。  
[ 基本操作 4/ 右パネルの基本操作 ]

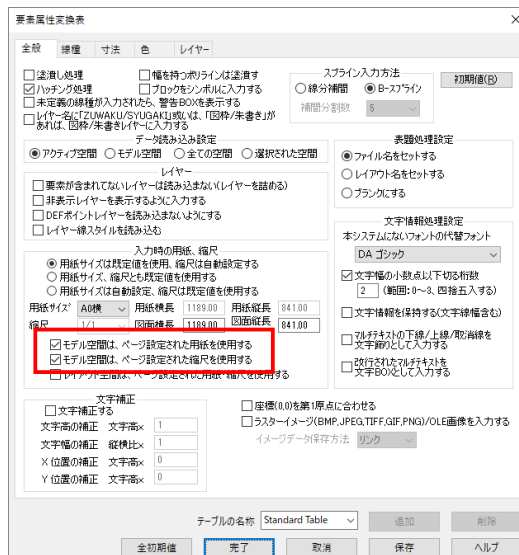


4. グリッド設定 グリッドを表示する度に、グリッド原点を毎回手動で指定できるモードを追加しました。  
[ 基本操作 4/ モード設定 ]  
[ 補助 / システム設定 / 色彩 / グリッド設定 ]



## 5. DXF・DWG 入力 用紙 縮尺

AutoCAD のモデル空間に設定された「ページ設定」を読み込み、CADPAC の用紙サイズ及び縮尺として適用できるようになりました。  
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



## 6. DXF・DWG 入力 線種

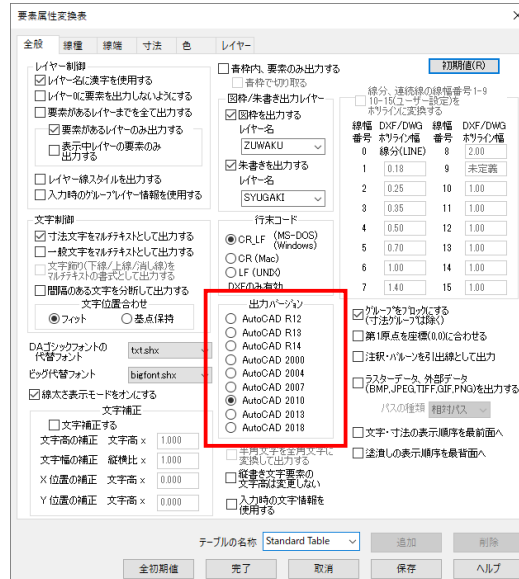
未定義線種を読み込んだとき、ユーザー定義線種に自動登録できるようになりました。  
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



## 7. DXF・DWG 出力 出力バージョン

出力バージョンの初期値を、AutoCAD 2000 から AutoCAD 2010 に変更しました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



## 8. DXF・DWG 出力 用紙 縮尺

出力時、元データの用紙サイズ・基準縮尺を AutoCAD のモデル空間のページ設定に反映するようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

## 9. PDF 入力 文字

文字の入力精度が向上しました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

## 10. PDF 入力 線幅

「倍率補正」を 1 倍 以外にした時、線幅は影響を受けないようにしました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

## 11. PDF 入力 画像

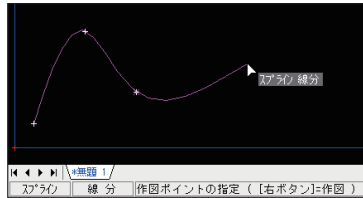
PDF 内の画像に角度がついている時、角度を保持するようにしました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

## 12. スプライン

作図時および変更時のポイントの指定中に、ラバー表示されるようになりました。

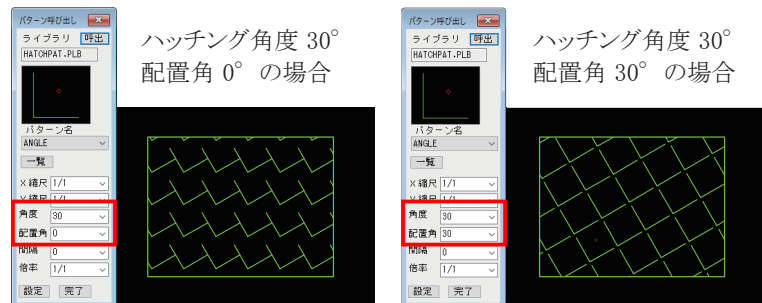
[ 作図 / 曲線 / スプライン ]



## 13. パターンハッチング

パターン呼び出しパネルから、ハッチング領域内の配置角度を指定できるようになりました。

[ 作図 / 面処理 / パターンハッチング ]



## 14. 重複線消去

処理速度が向上しました。

[ 編集 / 消去 / 重複線消去 ]

## 15. 変形

設定「寸法引出線のみ検出された場合、寸法値の変更対象にする」チェックがオフの時、図形とともに寸法形状も変形するようになりました。

[ 編集 / 変更 / 変形 ]

## 16. 線分連結

同一グループ内の要素も、枠選択で線分連結できるようになりました。

[ 編集 / 変更 / 線分連結 ]

## 17. 要素

SIMA 入力した点要素の情報を確認できるようになりました。

[ 補助 / 計測 / 要素 ]

[ 専用 / 土木基本 / SIMA 入力 ]

要素情報

基本属性 点 要素色 4  
要素種別 普通 RGB色 0, 255, 0  
要素線種 要素線幅  
始点端種 終点端種  
レイヤー 01B 01L  
縮尺 1/1  
座標原点 画面中央 原点1 原点2

[中心座標]  
X = -442.7589 Y = 254.0420  
形状 = ×  
尺度 = 1.0000  
回転角度 = 0.0000

[SIMA情報]  
点番号 = 327  
点名称 = PP27  
X = 85000.00000000  
Y = 95000.00000000  
Z = 99510.00000000  
[塗潰しレベル] = 0  
[隠しレベル] = 0

## 18. 要素長

選択した複数要素の合計要素長を算出できる新コマンドを追加しました。

[ 補助 / 計測 / 要素長 ]



## 19. システム設定・検出

「要素情報のガイドチップ表示」のオン/オフを切り替えられる専用ツールバーを新規に追加しました。

[ 補助 / システム設定 / 検出 ]

[ 基本操作 2 / 標準アイコンツールバー ]

